

競技注意事項

1. 本大会は、平成29年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特配慮のもとに競技を進行する。小雨決行(ただし暴風雨及び雷警報発令等、実施困難な場合は中止と)
2. 参加種目は原則として一人2種目までとする。
ただし例年この時期に行っていた県学童標準記録挑戦記録会を本年度中止しているための臨時措置と挑戦のために、リレーと個人種目2種目(計3種目)挑戦を認める。
3. スパイクシューズは長距離種目以外使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7)
4. コールは行わない。(朝の受付での棄権の報告は不要。ルーの走順変更は前日までに連絡)
競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従(フィールド種目も他の種目と同じ集合場所とする)
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
スターティングブロックは、希望者全員使用してよいが、速やかに準備できるよう、よく指導しておくこと。またフ
ついては、岡山県の小学校の大会では、同一人でなくても、2回目以降のスタートでフライングした選手が
6. 100m, ハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、ゴール後は自分のレーンにもどること。
7. トラック種目は、全種目タイムレース決勝とする。

ハードル走は下表の規定にて行う。

	第1ハードルまで	高 高	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
60m	1 3 m	60cm	7 m	6台	1 2 m
80m	1 3 m	70cm	7 m	9台	1 1 m

8. 走り幅跳びは、以下の特別ルールにて実施する。

①全員3回の試技(砂場まで届かない試技は測定しない。)

(3回ともファールの場合も、参考記録は測定しない。)

②標準記録を上回った選手のみ、残り3回の試技を認める。

標準記録 男子400cm 女子360cm

・順位決定は、①②の記録を合わせて決定する。

また走り高跳びの試技は、男女とも100cmから開始する。跳び方ははさみ跳びとし、マットへの背、腰か着地は無効試技とする。

ソフトボール投げは全員3回の試技を行い、上位8位までに入った選手が残り3回の試技を行う。計6回で順位を決定する。(助走距離15m以内)

9. 各種目とも上位6位までを表彰する。3位までの入賞者は、放送の指示により表彰式を行う。4位以下は表彰状を受け取ること。

参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと) 記録は速報板に掲示するのでよく確認の
なお、後日倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。

10. 各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。
11. 本大会出場選手のうち、希望した選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故に十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。
12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
13. **ごみは各自持ち帰ること。**

手に教育的
とする。)

として、標準記録

ミリ以下とする。

うこと。

ライングに
失格となる。

らの

り試技

本部で

うこと。

こは、